



—東地中海地域ニュース—

イスラエル・パレスチナ：9月の国連総会に向けた動き (8月25日付イスラエル各紙)

1. 8月24日、安全保障閣僚会議が開催され、9月の国連総会において、パレスチナ国家承認決議が採択された場合のイスラエル側対応に関し、話し合われた。現在、外交ルートを通じて、各国に対し、パレスチナの国連総会に向けた動きを止めるよう働きかけているが、決議が採択された場合の対応について、政府としての最終的な決定はいまだなされていない。
2. イスラエル政府内では、9月の国連総会において、50から60カ国を少なくとも棄権させることが可能ではないか、との見方があるが、これが実現した場合であっても、同決議が可決するのに必要な票数を獲得する見込みである。
3. また、政府筋によると、イスラエルは、パレスチナ側に明確な選択を行わせるために、9月の国連総会前に、決議が採択された場合にイスラエルが取る対応を公に明らかにするか否かについて決定する必要がある。この議論に関しては、政府内で賛否両論が分かれているが、対応を明らかにすることによって、パレスチナが身動きの取れない状態となり、イスラエル側の脅しに屈していると非難されないよう、国連総会に向けた動きをますます強める恐れがあるとして、反対の声も上がっている。